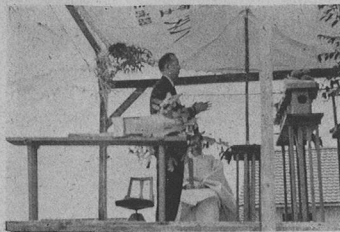


昭和十八年、大東亜戦争のさ中に着工された、国営「金剛干拓」(四二五町歩、総事業費六億六千万円)は去る六月十八

# 新てま土

石の増産を目ざしタイナミックなガールチペーターの音が広大な沃野に流れてい



(鉄入式の桜井知事)

## 海を陸に変えた 金剛干拓地の誕生



立ちならぶモタ々な家

時間、四時間の合間々々に築堤工事を行い、やがて潮が満ちてくると、今築いたばかりの堤防は、すでに海水に洗われる始末。

又毎年忘れずに行ってくる台風や大浪のため、工事半ばの築堤は大損害をこうむり、何回ともなく手戻り工事が行われている。

その他海中に仮締切りを造って、排水樋四の築造、外海と地区を断る勇壮な潮止工事など、すべてが大自然とのたたかいといえよう。

だがこのようにして出来上った陸地もこれを肥沃な農地にするまでには、更に種々の工事を施さなければならぬ。すなわち潮遊地の小塊築立、田に水をひくための水路の新設、田の排水をよくするための排水路の開き、農耕のための道路、橋の架設、その他整地や除塩等を行わねばならない。

### 入植者の声

このような汗と脂の結晶によつて生れた新天地に、選ばれて入植した一七〇戸すなわち熊本一四三戸、長野二〇戸、鹿児島七戸、の人たちは、一戸当り一町六反の経営者として、未来への希望は明るい。

はるばる長野県から移住して来たある青年は、今迄私達は猫のヒタイのような土地に、しがみついて生きてきました。しかしこの土地に来て、この広大な耕地を見ただけでも、明るい希望がわいてきます。もちろん開拓の道は簡単やさしいものではありませんが、この干拓地の労苦を思いますと、どんな苦労にもたえていけます。必ずやります。見て下さい。

と青年は肩をならべている若いお嫁さんに、半ほ開かせるように私に語ってくれた。

限られた開土日、年々増える人口、その食

見て下さい、このうれしそうな顔々々



さア耕作だ

②うたをうたおよ新地の歌を空は青空海さえ風いで土はあら土生れたまよあなた任せの干拓地

糧増産対策上、国の重要施策の一つとして全国的に推進されつゝある干拓事業の成功・不成功は、国の強力な助成策と同時に、入植する人の問題ではなからうか。

私はこのたくましい青年と、豊かな秋のみのりの再会を約しながら帰途についた。

(瓜報沙外観)

### 新地音頭

①できたできたよ新地ができた海の中から新地ができたうえよそだてよ新地の土に汗の稲穂がみのるまで



もう一度も来だした